

すくすく

2021 No. 67 12月
 編集・発行 済生会宇都宮乳児院
 〒321-0974 宇都宮市竹林町 945-1
 ☎ 028-626-5511 (代)

院長 荻津 守

年末の慌ただしさの中、そういえば隣国で新型コロナウイルスが発生したのは一昨年前のこの時期だったと思い出します。その時に、まさかこれほど全世界で長引く事態になるとは思っていませんでした。ワクチン接種が浸透し、緊急事態宣言も解除されたので、当院でも段階的に面会や外出体験行事の制限緩和を始めたところですが、冬の感染症の影響も出る時期ですので感染症予防に十分留意しながら養育に励んでいく所存です。

折しもこの文章を書いている本日は、インフルエンザの予防接種日で接種会場からは泣き声も聞こえてきますが、この試練を乗り切った良い子たちには、きっと隣で見守る保育者によく似たサンタクロースが笑顔になるプレゼントを用意してくれるからねと心の中で応援するこの頃です。

30年幸せな日々

主任保育士 小森 裕子

平成2年から夢中で走り続け、気が付けば30年過ぎていました。最初に担当させて頂いたお子さんが28歳になりました。今まで関わってきた子ども達は、穏やかな子、活発な子、泣き虫な子など、個性豊かな子ばかりで、日々の可愛い仕草や笑顔に癒されました。また、出来なかった事が出来るようになった時は共に心躍らせて喜びました。子どもたちの笑顔、喜びを引き出せるよう奮闘している毎日ではありますが、少しずつ小規模養育にも取り組み、子ども達、乳児院に携わる人々が幸せを感じられるよう願っています。



お宮参り

生後1カ月前後に行われ、子どもの無事な誕生を神様に報告し、感謝する行事です。日本人は昔から生命の誕生を祝う行事を行ってきたと言われていて、お宮参りとして鎌倉時代に発生し、室町時代には現在のような形に定まったと言われています。



お星様に願いをこめて



笹の葉飾りきれいだね



《水遊び》 暑い夏はつめたいプールで気持ちい〜!



カエルさんみ〜つけた!



秋の味覚!大きな栗とリンゴおいしそう思わず「あーん」



ばくばくモグモグ



《クッキング》 粉を一生懸命混ぜてホットケーキを作っています。



おくらスタート



ベタン! 足跡たくさんだ

お喰い初め

- 赤ちゃんの生後100日目で行う行事が「お喰い初め」です。
- 100日までの成長を祝い「一生食べ物に困りませんように」と願いをこめて食事を食べさせる真似をする行事です。
- 歴史を辿れば平安時代から行われてきた由緒ある伝統的な行事です。
- 右の写真は赤ちゃんに石のように丈夫な歯が生える事を願う、「歯固め(はがため)」という儀式を行っている写真です。

